

四季の風



■発行責任者／病院長 豊田 秀徳
■編集 集／大垣市民病院広報・企画委員会

広報 第96号

●発行 令和8年10月1日●

CONTENTS

そけいヘルニアセンター（専門外来）開設 …………… P1
入退院支援センター（PFM）での薬剤師のかかわり …… P2
地域連携医療機関紹介 …………… P3

ロボット手術における臨床工学技士の関わり …… P4
市民健康増進クラブを設立します！ …………… P4

診療部 専門医が教える家庭の医学

そけいヘルニアセンター（専門外来）開設

外科 部長 高山 祐一

足の付け根あたりに、ポコッとした「ふくらみ」はありませんか？それは「鼠径（そけい）ヘルニア」、いわゆる「脱腸（だっちょう）」かもしれません。大垣市民病院そけいヘルニアセンターでは、世界基準の確かな技術と豊富な実績をもとに、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供しています。

このような症状に心当たりはありませんか？

- ・立ったりお腹に力を入れたりすると、足の付け根にふくらみが出る
- ・横になって休むと、自然に引っ込んで消える
- ・足の付け根のあたりに違和感、つっぱり、痛みがある

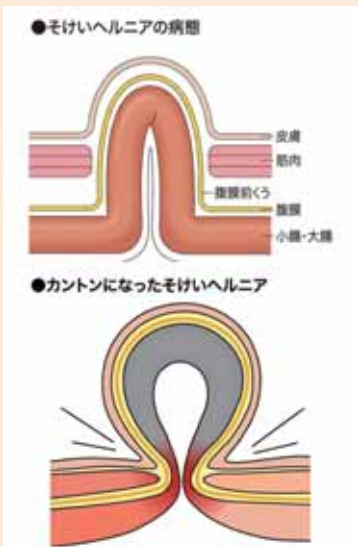


受診をためらう必要はありません。そけいヘルニアは、お薬や運動などで自然に治ることはありません。根治には外科手術が必要となるため、「ただのふくらみだから」「恥ずかしいから」と我慢せず、早期の専門外来受診をおすすめします。

放置は厳禁！突然襲う「嵌頓（かんとん）」の危険性

ふだんは出入りしていても、突然すき間に腸が挟まって戻らなくなる状態を「嵌頓（かんとん）」と呼びます。

- ・命に関わる緊急事態です：挟まった腸に血が届かなくなると、短時間で壊死を起こし、腸閉塞や腹膜炎を併発して命に関わる事態になります。
- ・すぐに救急受診を：「急に強い痛みが出た」「ふくらみが戻らなくなった」場合は、一刻も早く救急外来を受診してください。

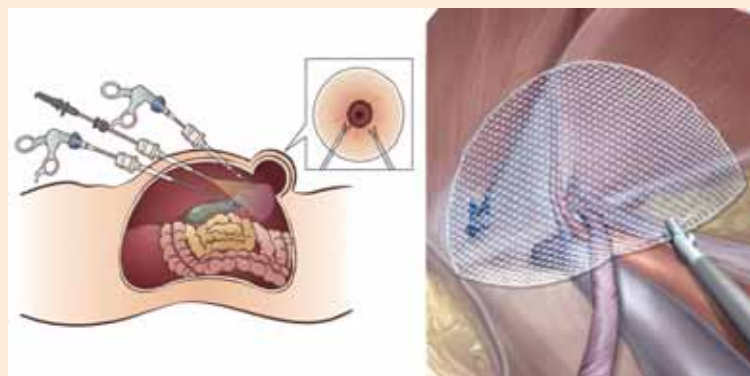


当センターの「3つの安心」

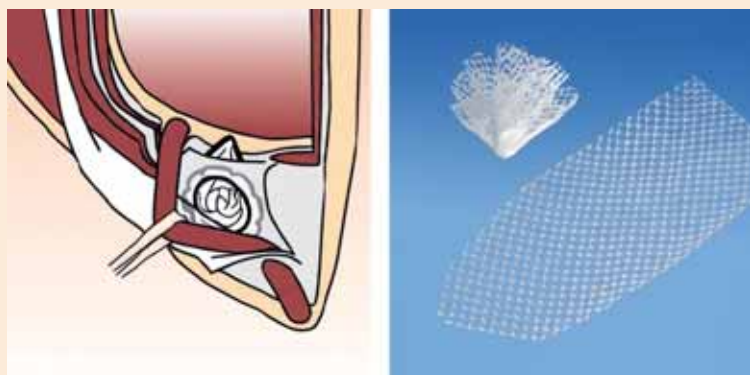
① 患者さんに寄り添う3つの治療アプローチ

患者さんの年齢、お体の状態、社会的背景に合わせて最適な術式を提案します。

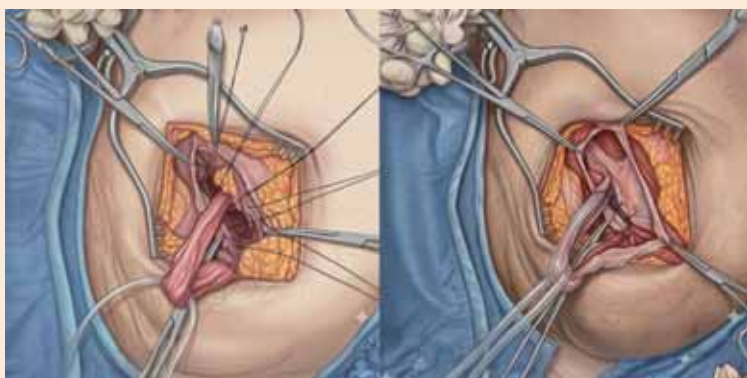
- ・腹腔鏡（ふくくうきょう）手術 お腹に数ミリから1センチ程度の小さな穴を開け、カメラを挿入して内側から補強します。傷跡が極めて小さく痛みが少ないため、早期退院と早期社会復帰が可能です（全身麻酔）。



- ・そけい部切開手術 足の付け根を数センチ切開し、外側からメッシュ等で補強する標準的な術式です。84歳以上の高齢の方、心肺機能に不安がある方、抗血栓薬（血液をサラサラにする薬）を服用中の方でも、局所麻酔で安全に手術が行えます。



- ・自家組織修復法 人工物（メッシュ）を一切使わず、患者さん自身の筋肉や腱などの生体組織だけで修復します。主に緊急手術や、感染症リスクが高い場合に選択されます。



② 精密な診断と迅速な対応

- ・当日実施の精密診断：初診日に CT 検査等を行い、他疾患の除外も含めた精密な診断を当日中に実施します。
- ・最短 1 週間以内の手術枠：診断後、最短 1 週間以内での手術枠の確保・調整が可能です。
- ・短期間の入院治療：1 泊～2 泊の短い入院期間で集中的に治療を行い、術後 2 週間まで丁寧に経過を観察（アフターケア）します。

③ 専門医（スペシャリスト）による診療・チーム医療

- ・センター長：高山 祐一（外科部長）
（日本ヘルニア学会評議員・修得医 / 東海ヘルニア研究会代表世話人）



- ・圧倒的な診療実績：2010年～2025年で累計手術実績 4,000 件以上。地域最大級の症例数を誇り、世界基準の治療法（TAPP や OpenPlug など）の開発・普及に長年貢献しています。
- ・高度な症例にも対応：難治性の再発ヘルニア、巨大ヘルニア、他施設で治療困難とされた有病高齢者のヘルニアまで、チーム全体で徹底したマネジメントを行います。

高い学術水準と患者満足度の両立

豊富な症例を厳密に分析し、国内外へ計 70 編の学会発表、21 編の学術論文（英文含む）として発信しています。日本消化器外科学会誌で発表した患者アンケート調査では、**術後満足度評価 約 89%**という高い信頼をいただいております。

外来受診・ご紹介の流れ

当センターは【完全予約制】となっております。

- ・診療日時：毎週水曜日 13:30～16:30
※水曜午後の専門外来に限らず、平日午前中（毎日）も従来通りヘルニア診療を行っています。
- ・予約方法：かかりつけ医（地域の医療機関）を介した「病診連携」による事前予約をお願いいたします。
- ・患者さんへのお願い：初診時には、現在内服中のお薬がわかるよう、必ず「お薬手帳」をご持参ください（特に血液をサラサラにするお薬を飲まれている方は重要です）。

薬剤部

入退院支援センター（PFM）での薬剤師のかかわり

薬剤部 神田 友江



入退院支援センター(PFM:Patient Flow Management)では、患者さんが安心して入院や手術を迎えられるよう、入院前から必要な準備を支援しています。看護師、薬剤師、さまざまな医療スタッフがそれぞれの専門性を活かし、患者さんの状態や生活状況、入院に関する心配ごとなどを確認します。あらかじめ必要な情報を把握して院内のスタッフと共有することで、安全で円滑な入院医療につなげています。

薬剤師によるお薬の確認

薬剤師は、普段使用している薬や健康食品、サプリメントなどを確認します。手術や検査の前には、出血などの危険を避けるため、一時的に中止が必要な薬があります。医師の指示に基づいて、中止する薬と期間を患者さんに説明します。必要に応じて医師に確認します。



お薬手帳がない場合や、薬の内容を特定できない場合には、後日お薬手帳や薬をご持参いただいたり、電話や処方元の医療機関を通じて確認したりすることもあります。また、一包化調剤(飲みやすいように、複数の薬が一つの袋にまとめられているもの)の袋から中止する薬を取り出すことが難しい場合や、複数の薬で中止する日が異なる場合には、薬を一緒に確認し、服用日を記載するなど、患者さんに合わせて支援します。

安心して入院を迎えるために

正確なお薬の確認は、手術や検査を受ける患者さんの安全を守り、予定どおりに治療を受けていただくために大切です。入院やお薬について分からないこと、不安に感じていることがあれば、遠慮なく入退院支援センターのスタッフへお尋ねください。さまざまな医療スタッフが連携し、患者さんの入院生活を支えています。





地域連携医療機関紹介

竹中胃腸科

内科・消化器内科・胃腸科内科・呼吸器科

医師
竹中 清之

〒503-0905
大垣市宮町1-29
TEL:0584-74-1283

休診日／日曜日、祝日、
火曜日・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前8:30~12:00	○	○	○	○	○	△	—
午後5:00~ 7:00	○	—	○	○	○	—	—

土曜日のみ8:30~13:30 注: 8:30~9:00は胃カメラ等検査の時間です。

先生
からの
一言

胃カメラ・大腸カメラによる消化器診療から呼吸器内科まで幅広く対応。苦痛の少ない経鼻内視鏡を導入し、消化器内視鏡専門医が最先端の診断・治療を提供します。長引く咳や息苦しさなど呼吸器のお悩みもお気軽に相談ください。高血圧・糖尿病などの生活習慣病にもきめ細やかに対応しています。

はしもと内科 糖尿病・内分泌クリニック

内科・糖尿病内科・内分泌内科・小児科

医師
橋本 健一

〒503-0854
大垣市築捨町2丁目94番地
TEL:0584-87-0050

休診日／水曜日、日曜日、祝日



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—
午後4:00~ 7:00	○	○	—	○	○	△	—

土曜日は、午後2:00から5:00まで

先生
からの
一言

糖尿病専門医、内分泌専門医として、様々なタイプの糖尿病診療に力を入れています。代表的な内分泌疾患である甲状腺疾患についても、ホルモン検査・甲状腺エコー検査等を行い精査・治療が可能です。

浅井耳鼻科クリニック

耳鼻咽喉科・アレルギー科

医師
浅井 俊一郎

〒503-0883
大垣市清水町27
TEL:0584-78-2242

休診日／水曜日、日曜日、祝日



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—
午後4:00~ 7:00	○	○	—	○	○	○	—

土曜日の午後は、3:00~6:00

先生
からの
一言

当院は曾祖父の当地開業から来年で一五〇年を迎えます。耳・鼻・のどの専門医として最新の知見と技術をいかし、大垣市民病院との連携のもと安心して相談できるクリニックです。

はなみずき内科・内視鏡クリニック

内科・消化器内科・内視鏡内科・肝臓内科

医師
河口 順二

〒503-0015
大垣市林町7丁目840-1
TEL:0584-71-8730

休診日／木曜日、日曜日、
祝日・土曜日午後



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~12:00	○	○	○	—	○	○	—
午後4:00~ 6:30	○	○	○	—	○	—	—

胃内視鏡午前8:30から9:00

大腸内視鏡午後1:00~3:30 内視鏡検査は予約制です

先生
からの
一言

胃・大腸内視鏡検査による病気の早期発見に努めるとともに、生活習慣病などの一般内科診療にも幅広く対応しています。お気軽にご相談ください。

養西診療所

内科・小児科・消化器内科・耳鼻咽喉科

医師
松原 理英

〒503-1325
養老郡養老町飯ノ木337-1
TEL:0584-71-6658

休診日／水曜日、日曜日、祝日



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~11:30	○	○	—	○	○	○	—
午後3:00~ 7:00	○	○	—	○	○	○	—

内科・小児科・消化器内科予約診療 月・火・木・金・土 午後1:30~3:00
耳鼻咽喉科 月・火・木・金・土 午前9:00~11:30 火・土 午後1:30~6:00

先生
からの
一言

内科・小児科全般及び耳鼻咽喉科の診療を行う診療所です。睡眠時無呼吸症候群診療、舌下免疫治療、胃カメラや甲状腺・腹部エコー検査、各種健康診断、各種予防接種、往診も行っております。お気軽にご相談ください。

カルナデンタルクリニック

歯科、小児歯科、矯正歯科

医師
篠崎 章敬

〒503-0802
大垣市東町4-1-5
TEL:0584-81-8822

休診日／木曜日、日曜日、祝日



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00~13:00	○	○	○	—	○	○	—
午後2:00~ 6:00	○	○	○	—	○	△	—

△土曜日午後診察時間は、午後4:00までです。

※最終受付時間は30分前になります。

先生
からの
一言

「自分自身が受診したい専門性の高い歯科医院」を理念に、地域に根ざし、小さなお子様から高齢の方まで一人一人に寄り添い、丁寧な説明と安心できる治療を心がけています。

医療技術部

ロボット手術における臨床工学技士の関わり

医療工学センター 臨床工学技士 牧田 拓真



手術支援ロボット（ダヴィンチなど）を使ったロボット手術は2012年に初めて保険適用となり、当院でも2016年から導入しています。導入当初は1科で年間62件だった手術件数も、現在では3科で350件まで増加しました。今回はこのロボット手術における臨床工学技士の役割をご紹介します。

はじめに、ロボット手術では何台の医療機器が使用されているかご存知ですか？手術支援ロボットは、術者が操作する「コンソール」、その操作を受けてアームを動かす「ペイシェントカート」、画像処理を行う「ビジョンカート」の3つの大きな機械で構成されています。それに加えて、お腹に空気を入れる気腹装置や、スコープの映像を映し出すモニター、電気メス、麻酔器など、多くの医療機器を併用します。

臨床工学技士は、これらの機器を用いて手術が円滑に進むよう、始業前点検をはじめ、機器の配置や配線を担当しています。手術の種類によって使用する機器やその配置は異なり、機器の数が多いことから配線も複雑になります。ケーブルが一本つながないだけで映像が映らず、手術が中断してしまうこともあるため、責任感を持って日々の業務にあたっています。

また、病院として新たな術式を導入する際には、事前に機器配置のシミュレーションを行います。臨床工学技士の立場から、ロボットアームの稼働範囲や機器の消費電力、スタッフが移動するための

動線などを細かく検討します。そして、手術室という限られたスペースの中で安全に手術が行えるよう、医師や看護師と協力しながら機器の配置を決めています(図1)。

さらに、手術室には臨床工学技士が常駐しており、医療機器にトラブルが発生した際にも迅速に対応します。まず状況を確認し、必要に応じて機器交換を行うなど、医師と相談しながら最適な方法で対処しています。

ロボット手術が安全に行われる背景には、こうした事前準備とサポート体制があります。これからもチーム一丸となり、患者さんに安心・安全な医療を提供してまいります。

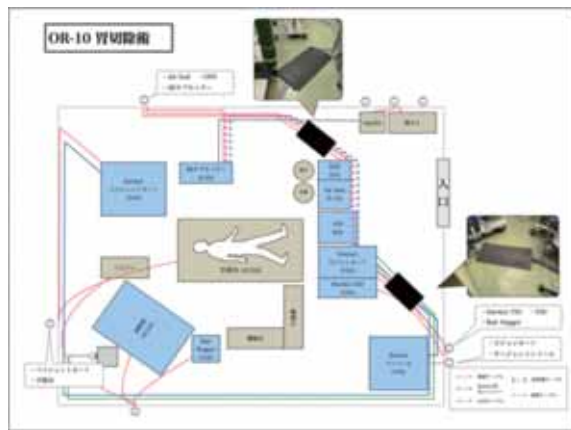


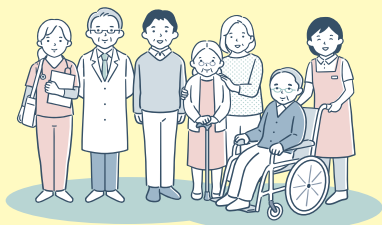
図1. 胃切除術の配置図

市民健康増進クラブを設立します！



大垣市民病院ではこの10月から「市民健康増進クラブ」を設立します。このクラブは、みなさんの健康に対する意識や興味を高め、病気の予防に役立つ情報を発信するとともに、病気の早期発見・治療を目指してみなさんの健康をよりよくすることを目的としたものです。

病気には「ならない」ことが一番です。人間は一生のうちには誰でも病気になりますが、その中には防いだり、発病を遅らせたりできるものがたくさんあります。例えば糖尿病や高血圧のような生活習慣病は、生活習慣を変えることによってかなり改善させることができます。そうすると、心筋梗塞や脳卒中、腎臓病、ある種のがんなどのような糖尿病や高血圧が原因と考えられる病気のリスクも下げることができます。また、運悪く



起こってしまった病気も、多くは早期に発見すれば命にかかわるような状況になる前に治療可能なことが少なくありません。

市民健康増進クラブでは、今後定期的にさまざまな健康についての講演会を行って、生活習慣の改善法、病気の予防法、若さを保つ秘訣、感染の予防策など、さまざまなテーマで健康についてのお話をしていきたいと思っています。高齢者の方が足腰を保ち、いつまでも活動的に暮らせるための助けになる情報もお届けしたいと思っています。また将来的には、会員の皆さんにより検診を受けやすい制度を作り、起きてしまった病気の早期発見・早期治療の手助けもしていきたいとも考えています。この「市民健康増進クラブ」が少しでもみなさんの健康のお役に立てることを願っています。

みなさん、市民健康増進クラブに加入して一緒に健康な生活を目指しましょう。参加は無料です。右記の2次元コードからも簡単に加入が可能です。



「市民健康増進クラブ」
入会用2次元コード

病院の理念

患者中心の医療・良質な医療の提供

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。



No smoking

健康増進法に定められた受動喫煙防止対策により、当院の敷地・駐車場内は**全面禁煙**です。ご理解とご協力をお願いします。

編集後記

「四季の風」は平成15年に刊行し、今号で96号になります。バックナンバー（36号以降）は右記2次元コードよりご覧になれます。次回は1月1日に発行予定です。今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。



四季の風
バックナンバー

大垣市民病院広報・企画委員会

〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715

<https://www.ogaki-mh.jp/>

（電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いいたします）